

自分で計画して、やり切ろう

春休み、君はどう過ごす？

今年度から始めた自主学習、どれくらい取り組めたでしょうか。あと半月もすれば新年度の新学期が始まります。もう一度初心に戻って、この春休み、自主学習に取り組みましょう。そのことが新年度のより良いスタートにつながり、必ず自分を成長させます。

自分で何かを決めてやろうとしたとき、あるいは自分で決めてやり切ったとき、人は大きく成長します。この春休みは、自分でやることを決めて、それをやり切らしましょう。

以下、取り組む内容を決める上で参考にしてください。



2年生松前遥香さんの美術作品
完成まで粘り強くていねいに制作できました！

☆ 得意な教科や興味があることをやる！

好きなことならやりやすい。自分の強みをさらに伸ばそう！

☆ 実技教科の内容に取り組んでみる！

勉強は5教科だけではありません。運動や芸術に親しみ、自分の興味関心を広げよう！

☆ 苦手な教科の内容をやる！

英語が苦手なら、教科書に出てきた単語や熟語を少しずつ書いて覚えたり、国語なら、教科書に出てきた漢字を少しずつ書いて覚えたりして、基礎力をつけるのも大切ですね。

☆ 読書をとおして、読む力をのばす！

毎日30分読書をすれば、春休みで420分（7時間）の読書ができます。

☆ 学校のHPにのせている学び直しの問題などをやってみる！

問題をといてみることは、自分の理解度を確かめることになります。HPの問題も活用してください。授業でやった問題をもう一度やってみるのもいいことです。

ちょっとがんばればできる程度の、無理のない計画でやりきろう！

春休みの期間をとおして毎日やり切ること。それが、自分自身を変え、自分の未来を変えることにつながります。「自分と未来は変えられる」のです。



卒業式飾り付け（美術部制作）

「虹と鳩」明るい未来や希望をイメージ。

ちょっとした時間を見つけて

～1年生読書貯金の取組から～

中嶋かすみさんは今年度60冊もの本を読み、私から表彰しました。

中嶋さんは、毎日夕食前や寝る前のちょっとした時間を見つけて、読書をするそうです。時間の使い方が上手だなと感心しました。好きな本はミステリー小説とのこと。

保護者・地域の皆さまへ

学校評価について

より良い学校づくりのため、生徒や保護者の皆様のアンケートをもとに職員が自己評価を行い、学校関係者評価委員会で意見をいただきながら次年度に向けて具体的な改善策を検討してきました。学校関係者評価委員会は客観性や透明性を高めるために行うもので、今年度は、老上ふれあい農業合校長、老上西学区教育振興会長、老上学区民生委員児童委員主任児童委員、PTA 会長、学識経験者を招いて2回実施しました。その概要は次のとおりです。

評価項目	学校関係者評価委員の主なご意見	学校関係者評価の結果を受けた学校の考え（次年度への対応）
教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒はあらゆる面で自主的に取り組んでいる。 ・基礎基本は大切であり、どの生徒にも定着するように取り組んでもらいたい。 ・自分の考えを書くということは、理解を深めるために大切なので、書くことの指導にも力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習ノートの取り組み方などを工夫し、主体的な学習態度の育成、基礎基本の充実をめざす。 ・どの教科指導においても言語活動の充実を図り、授業でのふりかえり活動では、特に書くことを重視する。 ・「チャレンジプラン」の検証・改訂を行う。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な対応は大切であり、教職員同士のコミュニケーションが基盤である。 ・「ピンクシャツデー」の取組は大変良い。生徒の自主的な取組は効果が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間の情報共有を徹底し、組織的な対応を進めていく。 ・いじめの未然防止に向けては、今後も生徒主体の自治活動を促していく。
人権・同和教育	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業で一人ひとりの生徒をどれだけ大切にできているかがポイントである。 ・人権学習を進めることは、生徒が社会に出たとき人間関係をうまくつくっていく力につながっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が自らの人権感覚を磨き続け、弱い立場の生徒を置き去りにすることなく、どの授業においても、一人ひとりを大切にした教育の実践に努める。 ・生徒の実態をふまえ人権学習の内容を精査して実施し、差別を許さず見逃さない生徒の育成に努めていく。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害等の専門的知識をもつ人の参画、医療や福祉との連携を進めてもらいたい。 ・教職員同士の情報共有と年度が替わるときの引継ぎを確実にすることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的な配慮に基づく支援や指導の方向性については、専門家からの指導助言が不可欠であり、引き続き医療や福祉等の関係機関との連携強化を図る。 ・小学校との引継、年度を越えての引継は関係の連絡会などで確実に情報交換を行う。
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員同士が有効にコミュニケーションを図り、教育効果を高めてもらいたい。 ・ホームページや通信などでは、特に学校が大切にしていることや特色ある活動などを積極的に発信してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌を意識した「報告」「連絡」「相談」を徹底する。 ・次年度も学校HPや連絡メール、学校だよりなどにより、取組内容をわかりやすく積極的に発信していく。
保健・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室を実施するなど、家庭や地域と連携して交通安全の啓発に取り組むことが大切である。 ・危険箇所マップの作成は、生徒の主体性育成の点からも大変良い取組である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に関しては、学校・家庭・地域・関係機関の連携した取組が大切である。特別活動の時間に指導や啓発は行いつつ、家庭・地域への協力依頼や啓発を行う。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究の道德の授業公開などを通して、教職員の取組や生徒の様子を知る機会になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権同和教育を基盤としながら、次年度は道德教育の研究をさらに深化させ、心の教育の充実を図りたい。
保護者、地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・うどん打ち体験など地域の力を活用する取組は大切である。 ・部活動の指導に地域の人材が生かせるとうい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方々がより参加しやすい学校行事を検討し、学校教育への保護者や地域人材の参画を促進する。 ・部活動では、引き続き地域の方々や学生の協力を得ていきたい。

温かいご支援とご協力を賜り学校を支えていただき、ありがとうございました。